

第 8 号様式（第 15 条関係）

（第 1 面）

事業計画書

令和 6 年 2 月 5 日

三重県知事 あて

事業計画者

住所 三重県伊賀市炊村福王寺 1 4 9 5 番地の 4

氏名 有限会社 千 堀 機 工

代表取締役 堀 池 光 男

法人にあっては、名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

電話番号 0 5 9 5 - 4 7 - 0 3 7 3

三重県産業廃棄物の適正な処理の推進に関する条例第 21 条第 1 項の規定により、産業廃棄物の処理施設の設置等について、次のとおり事業計画書を提出します。

産業廃棄物の処理施設の設置等の目的	現在、令和 3 年 1 0 月 2 0 日付許可番号第 02428121072 号で許可を受けた施設で農業用機械の廃タイヤをせん断処理しているが、この度、別添フローチャートのとおり、既存施設によるせん断処理の前段階で本施設により細かくせん断（16 分割に一次処理）した後、既存施設で更に細かく（こぶし大に二次処理）し、廃棄物として処分業者に排出しようとするものである。
産業廃棄物の処理施設の設置等の場所	三重県伊賀市炊村字千谷 3 6 3 4 番地 1
産業廃棄物の処理施設の種類	廃プラスチック類のせん断施設
産業廃棄物の処理施設において処理する産業廃棄物の種類	廃プラスチック類（石綿含有廃棄物を除く。） （水銀使用製品産業廃棄物を除く。）
産業廃棄物の処理施設の処理能力	処理能力 4.8t/日：廃プラスチック類 4.8t/日（8 時間）
産業廃棄物の処理施設の位置、構造等に関する計画	
産業廃棄物の処理施設の位置	別添「配置図」のとおり
産業廃棄物の処理施設の処理方式	せん断処理方式
産業廃棄物の処理施設の構造及び設備	別添「構造図」のとおり
処理に伴い生ずる排ガス及び排水の量及び処理方法（排出の方法（排出口の位置、排出先等を含む。）を含む。）	せん断施設のため、排ガスは発生しない。
設計計算上達成することができる排ガスの性状、放流水の水質その他の生活環境への負荷に関する数値	放流水水質 S S 70 mg/ℓ n-Hex（鉱油類）1 mg/ℓ
悪臭の発散並びに騒音及び振動の発生を防止するための措置	騒音及び振動の防止 施設は建屋内に設置する。
その他産業廃棄物の処理施設の構造等に関する事項	別紙 5-1-(1) から 5-1-(3)

産業廃棄物の処理施設の維持管理に関する計画		
排ガスの性状、放流水の水質等について周辺地域の生活環境の保全のため達成することとした数値	放流水水質 S S 70 mg/ℓ n-Hex (鉱油類) 1 mg/ℓ	
排ガスの性状及び放流水の水質の測定頻度に関する事項	放流水の水質 年 1 回以上	
その他産業廃棄物の処理施設の維持管理に関する事項	別紙 5-2-(1) から 5-2-(2)	
説明会の開催の周知方法並びに事業計画書を公告及び縦覧する方法		
説明会の開催 の周知方法	予 定 日 時	令和 6 年 3 月 15 日 午後 1 時 30 分 ~ 午後 2 時 30 分
	予 定 場 所 及 び 収 容 人 数	三重県伊賀市炊村字千谷 3 6 3 4 番地 1 収容人数 2 0 0 人
	周 知 の 方 法	対象者に事業計画説明会案内状送付
事業計画書を 公告及び縦覧 する方法	公 告 の 方 法	当社ホームページに掲載
	公 告 予 定 日	令和 6 年 2 月 26 日
	縦 覧 場 所	本社受付窓口・伊賀市大山田支所
	縦 覧 開 始 予 定 日	令和 6 年 2 月 26 日
	縦 覧 時 間	午前 9 時 00 分 ~ 午後 5 時 00 分
産業廃棄物の搬入及び搬出の時間、方法及び経路		搬出の時間：土日祝祭日を除く平日午前 8 時から午後 5 時 方法：6 t ダンプ 3 台/日 経路：市道甲野川西線から市道四ツヤ千谷線を経由して事業計画地へ搬入
産業廃棄物の処理施設を使用する日時		土日祝祭日を除く平日 午前 8 時から午後 5 時
産業廃棄物の処理施設の設置等に当たり行政庁の許可、認可、承認、行政庁に対する届出その他これらに類するものを必要とする場合にあってはそれらの手続の状況		なし
事業計画者の 連絡先	担 当 部 署	有限会社 千堀機工
	T E L	0 5 9 5 - 4 7 - 0 3 7 3
	F A X	0 5 9 5 - 4 7 - 0 3 7 4

(第3面)

備考

- 1 各欄にその記載事項のすべてを記載することができないときは、同欄に「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付してください。
- 2 次に掲げる書類及び図面を添付してください。
 - (1) 産業廃棄物の処理施設及び事業の用に供する施設の配置図
 - (2) 産業廃棄物の処理施設の構造及び処理能力(最終処分場にあつては、産業廃棄物の埋立処分の用に供される場所の面積及び埋立容量)を明らかにする図面及び設計計算書
 - (3) 最終処分場にあつては、周囲の地形、地質及び地下水の状況を明らかにする書類並びに災害防止のための計画及び埋立処分の計画を記載した書類
 - (4) 最終処分場以外の産業廃棄物の処理施設にあつては、処理工程図及び処理後の産業廃棄物の処理方法を記載した書類
 - (5) 事業計画地の付近の見取図
 - (6) 排水の経路図
 - (7) 事業計画地の登記事項証明書及び不動産登記法第14条第1項に規定する地図又は同条第4項に規定する図面の写し
 - (8) 関係地域に該当する地域(産業廃棄物の処理に伴い生ずる排水(雨水及び従業員等の生活排水を除く。)を放流する場合は、放流地点を含む。)を明らかにする図面
 - (9) その他知事が必要と認める書類及び図面

別紙－２

取 扱 い 予 定 の 産 業 廃 棄 物 の 種 類

産業廃棄物 の 種 類	産 業 廃 棄 物 の 具 体 的 名 称	1 カ 月 あ た り の 平 均 取 扱 い 量 (t・m ³ /月)	有害物 質含有 の有無	有 害 物 質 の 名 称
廃プラスチック類 (石綿含有 産業廃棄物 を除く)	農業用機械の廃タイヤ	120 t/月	有・無	
上記品目は 水銀使用製 品産業廃棄 物を除く			有・無	
			有・無	
			有・無	
			有・無	
			有・無	
			有・無	
			有・無	
			有・無	

注) 有害物質を含有する場合は、その名称、成分等を明らかにする書類を添付すること。

中間処理施設に係る事業計画

基本計画	施設の内容	種類	法許可	処理能力	1日の稼働時間	
		第 二 号 廃プラスチック類のせん断	要・ <u>不要</u>	4. 8 <u>(t)</u> m ³ /日	8H/日	
		第 号	要・不要	t、m ³ /日	H/日	
			要・不要	t、m ³ /日	H/日	
	施設使用開始 予 定 日		許可後 ~			
	1日平均中間処理 量、及び搬入・搬 出車両台数 (取扱廃棄物ごと に記入)		廃プラスチック類 4. 8 t/日 (8時間) 搬入搬出車両台数 3台 廃プラスチック類 3台程度			
	技 術 管理者 又は 施 設 管 理 責任者	氏 名	堀 池 弘 樹			
		資格内容	特別管理産業廃棄物管理責任者			
	処理計画	廃 棄 物	マニフェスト及び目視検査により廃棄物を確認後、計量器で計量し保管場所にて受け入れ。			
		受入れの方法	添付書類： <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (別添-フローチャートのとおり)			
処 理 の 方 法		処理フローチャートのとおり、廃プラスチックを洗浄 (必要に応じ) した後、 廃プラスチックをせん断する。 添付書類： <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (別添-フローチャートのとおり)				
処理後の産業廃棄物または処理方法の処理方法等						
処理後の産業 廃棄物または 再生品の種類		廃プラスチック類 (原料)				
発生量 (t/月又はm ³ /月)		120 t/月				
処理方法	埋立処分 <input type="checkbox"/> 中間処分 <input checked="" type="checkbox"/> 売却 原料として太平洋セメント株式会社に処分委託する。	埋立処分 中間処分 売却		埋立処分 中間処分 売却		

別紙-5-1 (2)

構 造 等 の 計 画	構造力学上の 安全性	材質等 鉄製 添付書類：□無 ■有（別添一カタログのとおり）
	処理能力の 算定根拠	別紙、処理能力計算書のとおり 添付書類：□無 ■有（別添一のとおり）
	腐食防止	錆止め防止塗料塗布 添付書類：■無 □有（別添一のとおり）
	飛散、流出 悪臭の 発散防止	保管及びせん断作業は建屋内で行うことにより、飛散、流出を防ぐ。 添付書類：□無 ■有（別添一配置図のとおり）
	騒音・振動 及び粉じん の発生防止	騒音・振動を防止するため施設は建屋内に設置し、機械の日常点検を徹底する。 騒音 排出基準 60 dB 振動 排出基準 65 dB を遵守する。 粉塵防止については、散水設備を設置する。 添付書類：□無 ■有（別添一配置図のとおり）
	汚水処理施設 の概要 フロー図添付	処理方式 合併処理浄化槽 油水分離槽 処理能力 2 m ³ /日 1,335 L/h 添付書類：□無 ■有（別添一配置図のとおり）
	排ガス処理 施設の概要 フロー図添付	処理方式 処理能力 /min /min 添付書類：■無 □有（別添一）
	廃棄物の 受入設備	位置 別紙のとおり 構造 計量設備としては、計量器（30 tスケール）を設置。 規模 廃棄物の保管施設は床面コンクリート造りの建屋内に設置する。 添付書類：□無 ■有（別添一図面のとおり）
	処理後の 廃棄物等の 保管施設	位置 別紙のとおり 構造 鉄製 ネットパレット 規模 1 t × 8 台 添付書類：□無 ■有（別添一図面のとおり）
	囲い等	鉄製フェンス（1m50cm）及びスライド門扉 添付書類：□無 ■有（別添一図面のとおり）
	雨水等の流入 防止	建屋内のため雨水の流入はない。 添付書類：□無 ■有（別添一図面のとおり）
	搬入道路	市道甲野川西線から市道四ツヤ千谷線を経由して事業計画地へ搬入 添付書類：□無 ■有（別添一経路図のとおり）
	消火設備	有 無 （有の場合 その概要）添付書類：□無 ■有（別添一図面のとおり）
	車両足洗設備	有 無 （有の場合 その概要）添付書類：■無 □有（別添一のとおり）
	駐車設備	有 無 （有の場合 その概要）添付書類：□無 ■有（別添一図面のとおり）
	管理事務所	有 無 （有の場合 その概要）添付書類：□無 ■有（別添一図面のとおり）
その他、施設の種類ごとに、規則第12条の2に定める構造等の基準の適合方法について記載すること。		
該当無し		

別紙－５－１（３）

構 造 等 の 計 画	放流先までの経路		雨水及び高圧洗浄機による流水については、雨水は場内集水桝からU字溝を経由し、流水については場内油水分離槽からU字溝及び排水管を経由して金城川へ放流する。			
	添付書類：□無 ■有（別添一図面のとおり）					
			原 水		放 流 水	
			通 常	最 大	通 常	最 大
	排 水 量		4m ³ /日	8m ³ /日	4m ³ /日	8m ³ /日
	水	pH	7.3		7.1	
		BOD	93mg/L	mg/L	11mg/L	mg/L
		COD	110mg/L	mg/L	14mg/L	mg/L
		SS	120mg/L	mg/L	7.7mg/L	mg/L
		n－ヘキサン	0.5mg/L未満	mg/L	0.5mg/L未満	mg/L
	質	*その他有害物質等があれば、下欄に記入すること。				
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
			mg/L	mg/L	mg/L	mg/L
	大 気 質	排ガス量	wet	m ³ N/h		
			dry	m ³ N/h		
		排ガス中の酸素濃度 (%)		%		
				処理前		処理後
		排ガス温度 (°C)				
ばいじん (g/m ³ N)						
塩化水素 (mg/m ³ N)						
硫黄酸化物 (ppm)						
窒素酸化物 (ppm)						
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)						
*その他有害物質等があれば、下欄に記入すること。						
(ppm)						
(ppm)						

別紙－５－２（１）

維持管理等の計画	作業方法	作業人数 4人 作業時間 8時間/日（休憩1時間） 添付書類：■無 □有（別添－ のとおり）		
	受入時の廃棄物の性状の分析・計量方法	マニフェスト、目視検査により性状確認 計量器（30tスケール）にて計量する 添付書類：□無 ■有（別添－設計図のとおり）		
	異常事態時の措置	直ちに施設の運転を停止し、事務所及び関係機関へ連絡するとともに適切な対応を行う。万一、飛散・流出が発生した場合は、速やかに回収し適切に処理します。 添付書類：□無 ■有（別添－マニュアルのとおり）		
	飛散・流出 悪臭の防止	方法 建屋内で作業を行うため、飛散・流失はない 回数 清掃1回以上/日 添付書類：■無 □有（別添－ のとおり）		
	火災発生防止	火気取扱責任者を設置し、チェック表にて管理 取扱注意喚起の看板を設置する 添付書類：□無 ■有（別添－点検記録表のとおり）		
	衛生害虫等の発生防止	方法 日常清掃により清潔を保ち、発生が予測される場合、適宜薬剤の散布を行う。 添付書類：■無 □有（別添－ のとおり）		
	騒音・振動 粉じんの防止	騒音・振動については、機械の日常点検を徹底し、作業についても注意を払う。 敷地境界においては、騒音60dB 振動65dBを遵守する 粉塵については、必要に応じて散水により防止し、従業員は粉塵マスク等の着用を行う。 添付書類：□無 □有（別添－ のとおり）		
	放流水・ガスの排出管理	項目	管理値	測定頻度
		SS	70 mg/l	年1回
		n-Hex（鉱油類）	1 mg/l	年1回
定期的点検 機能検査	方法 日常点検及びメーカー点検 回数 日常点検：使用時毎日 メーカー点検：1回/年 添付書類：□無 ■有（別添－点検記録表のとおり）			
点検、検査の記録及び保存	記録内容 点検記録票により日常定期点検を行う 保存 点検記録票を5年間保存する 添付書類：□無 ■有（別添－点検記録表のとおり）			

別紙－５－２（２）

その他、施設の維持管理に関する計画	
	なし

- 注) 1 記入欄が不足する場合は、適宜、別紙等へ記入し添付すること。
 2 次の書類、図面を添付すること。

中間処理施設の計画概要図 ・平面図、立面図、側面図、構造図、断面図、その他	
敷地内における施設等の配置図	中間処理の計画を記載した書類 (廃棄物処理のフロー図等)
その他環境保全の計画を記載した書類	災害防止計画を記載した書類
設計等の計算書	その他地域防災総合事務所長、地域活性化 局長が必要と認めた書類等

会 社 概 要 ・ 業 務 経 歴

年月日		業 務 経 歴					
平成 16 年 4 月 13 日		有限会社 千堀機工 設立					
平成 16 年 12 月 3 日		古物商許可					
平成 17 年 8 月 19 日		三重県産業廃棄物収集運搬業許可 第 02418121072 号 積替保管含む					
平成 19 年 7 月 24 日		ISO14001 認証取得					
平成 21 年 9 月 1 日		一般貨物自動車運送事業者取得					
平成 27 年 12 月 15 日		安全性優良事業所認定					
令和 3 年 10 月 20 日		三重県産業廃棄物処分業許可 第 02428121072 号					
役職		役員の氏名			担当業務		
代表取締役		堀池 光男			業務全般		
取締役		堀池 弘樹			営業全般		
取締役		堀池 京子			環境整備		
事務所および 事業場の名称		所 在 地				電 話 番 号	
本 社		〒518-1403 三重県伊賀市炊村福王寺 1 4 9 5 - 4				0595-47-0373	
川東工場		〒519-1424 三重県伊賀市川東 2 5 0 7				なし	
		〒					
		〒					
		〒					
事務職員	1 人	運転手	3 人	作業員	3 人	計	7 人

注) 従業員数は、計画事業場の従業員についてのみ記入すること。

別 紙

他 都 道 府 県 等 の 産 廃 処 理 業 許 可 の 取 得 状 況

[illegible]

市 町 と の 協 議 状 況

1	協議対象市町名	伊賀市
2	土地利用に関する条例又は要綱等の有無	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;">有</div> <div style="margin-right: 20px;">無</div> <div> 有の場合はその名称 伊賀市土地利用条例、宅地開発事業の基準に関する条例 </div> </div>
3	水道水源保護条例等の有無	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-right: 10px;">有</div> <div style="margin-right: 20px;">無</div> <div>有の場合はその名称 伊賀市水道水源保護条例</div> </div>
4	協議経過及び結果（日付も記入）	
<p>伊賀市環境センター 令和6年1月23日 13:15～</p> <p>廃プラスチックは騒音規制法、振動規制法の対象外のため特に問題ないとの回答を得る。 （金属加工機械の場合は、せん断機も含まれる。）</p> <p>三重県生活環境の保全に関する条例については、用途区域内で定められた場所（旧上野市）以外は該当しないとの回答を得る。</p> <p>伊賀市水道部 令和6年1月23日 13:25～</p> <p>当該施設設置予定区域は、伊賀市水道水源保護条例 水源保護区域には含まれていないため、届出不要との回答を得る。</p> <p>伊賀市建設部都市計画課 令和6年1月23日 15:30～</p> <p>伊賀市土地利用条例、宅地開発事業の基準に関する条例について許可済みであり、既に「建築開発事業適合通知書」も交付済みであることから、建物増築等変更時のみ届出が必要との回答を得る。</p>		

注）事業計画書の作成前に関係市町と必要な協議を行って下さい。

別紙10-1(1)

環境調査(中間処理施設及び最終処分場)結果の内容

計画地の 地形の状況 (概要に○印) (写真添付)	・沢状地(谷間) ・山間地(山林) ・傾斜地 ・低湿地 ・丘陵地 ・平坦地 ・公有水面 ・砂利等の採取跡地 ・自然のくぼ地 ・その他()			
	<概要説明> 元農地を造成し、周囲は山林である。			
計画地の周辺 地形の状況 (概要に○印) (写真添付)	・沢状地(谷間) ・山間地(山林) ・傾斜地 ・低湿地 ・丘陵地 ・平坦地 ・公有水面 ・砂利等の採取跡地 ・自然のくぼ地 ・その他()			
	<概要説明> 布引山地北西麓に位置する山間地で、計画地の南側に国道163号線と伊賀川支流の服部川が、北西側に国道25号線が通っており、大山田工業団地に隣接している。			
降雨量			降雨量(mm)	発 生 年 月 日
	過去最大降雨量	時 間 雨 量	81.2	1953年8月14日
		日 雨 量	286.7	1953年8月14日
	過去20年の最大降雨量	時 間 雨 量	59.5	2008年6月20日
		日 雨 量	212.0	2017年10月22日
	過去20年の最大月平均降雨量		過去20年の年平均の降雨量の日換算量	
15.5mm/日		0.5mm/日		
最多風向	西		平均風速	2.5m/s

別紙10-1(2)

地 表 水 の 状 況	水路、河川等 <input checked="" type="radio"/> 有 無 (有の場合は、位置、名称、規模等) 計画地東側に市道四ツヤ千谷線を挟んで金城川が流れている。
	ため池、湖沼等 <input checked="" type="radio"/> 有 無 (有の場合は、位置、名称、規模等) 計画地東側に市道四ツヤ千谷線を挟んで替山池(20,000㎡)がある。
公有財産等の状況 (図面添付)	国、県、市町村有財産 有 <input checked="" type="radio"/> 無 (有の場合は位置、名称、規模等)
	共有地、共有水路等 有 <input checked="" type="radio"/> 無 (有の場合は位置、名称、規模等)
計画地及び周辺の 地 域 ・ 地 区 の 指 定 状 況 (図面添付)	該当なし
計画地及び周辺地 域の土地利用状況 (図面添付)	(農地、宅地、山林等の別、及び住宅、学校、病院等との至近距離) 計画地・・・平坦地 周辺地域・・・山林及び農地 至近距離・・・住宅450m 学校(大山田小学校) 2.2km
搬入・搬出用道路 (図面添付)	(路線名、幅員、交通量等) 市道甲野川西線 幅員 6.3m 市道四ツヤ千谷線 幅員 3.5m 通行量 測定値無し /日
	(交通安全等への配慮等) 令和2年6月25日 伊賀警察署照会 甲野川西線速度規制 40km以下 四ツヤ千谷線速度規制 60km以下(規制のない道路により法定速度となる。)を遵守する。

別紙 10-1 (3)

地下水の利用状況	飲料用自家井戸 共同井戸を利用 している戸数	50m 以内	50～ 100m	100～ 200m	200～ 300m	300～ 500m
		0 戸	(当社井戸) 1 戸	0 戸	0 戸	0 戸
	農業用井戸、工 業用井戸を利用 している戸数	農業用井戸		工業用井戸		その他 ()
		0 戸		0 戸		戸
<p><概要説明> 当社事務所飲料用として浄水器を設置し利用している。</p>						
放 流 経 路 (図面添付)	産業廃棄物処理施設					
	(河川、水路等の名称)		(利水対象)			
	金城川					
	(河川、水路等の名称)		(利水対象)			
	(河川、水路等の名称)		(利水対象)			
	<p><概要説明> 雨水及び高圧洗浄機による流水については、雨水は場内集水枳からU字溝を 経由し、流水については場内油水分離槽からU字溝及び排水管を經由して金城 川へ放流する。</p>					
史跡、名勝、天 然記念物、及び 埋 蔵 文 化 財 等 の 現 況	<p><概要説明> 令和2年4月15日 伊賀市教育委員会文化財課照会 ① 史跡、名勝、天然記念物は無しとの回答あり。 ② 埋蔵文化財に関しては対象地外との回答あり。</p>					
(別添一 のとおり)						

別紙10-1-(4)

関係法令の規制状況	法令名	概要及び規制基準等
市町村の規制状況		

注) 1 記入欄が不足する場合は、適宜本表を追加し、すべて記入すること。

2 図面・概要説明は、環境影響調査等の図書を添付することにより、これに代えることができる。